

12月26日(日曜日)午後1時から4時まで、TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前の会議室にて当センター主催による開設記念 HbMS セミナー第4弾『地域包括ケアシステムと情報技術支援』を開催いたしました。

本セミナーには医療介護関係の専門家の方々を中心に80人近くが集い、またご来賓として浅原利正(広島県病院事業管理者、前広島大学学長)、板谷美智子(広島県看護連盟会長)、川本ひとみ(広島県看護協会会長)、桜井勝弘(広島県健康福祉局地域包括ケア推進部長)、土肥博雄(中国四国ブロック血液センター相談役、広島大学医学部同窓会長、元広島赤十字・原爆病院長)、(平川勝洋 広島県病院事業局顧問前、広島大学病院長)の先生方諸氏のご来賓を賜りました。

セミナー冒頭では、栗栖恭三本学事務局長(当センター運営相談役)の開会の辞に続いて神田裕二当センター顧問(HBMS 特任教授、元厚生労働省保険局長)が国の医療介護保障の動向の話題を交えて開催の御挨拶をいたしました。

そして、わが国が迎えている本格的な人口の減少と高齢化の時代に対応するために5年近く前から国が推進する医療介護総合確保政策の要となる「地域包括ケアシステム」の概念を創出された当センター顧問の山口昇先生(公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問、前広島県地域包括ケア推進センター長)による『地域包括ケアシステムにおける原点と評価システムへの展開』と題した基調講演が行なわれました。年齢80歳半ばを過ぎてにもかかわらずしゃくとされ、地域包括ケアシステムの評価の課題について理路整然と説かれる山口先生のご講演に聴衆一同が耳を傾け、感銘を受けている様子がよくわかりました。

続いて以前に私が地域包括ケアシステムの構築について一緒に研究していただいた岡慎一郎先生(現静岡県医師会理事・医療介護連携担当、元静岡市静岡医師会長)はかねてより静岡市内における高齢者の医療・介護を守る市民活動をされており、また全国に普及する電子カルテの情報交換基盤ソフトを開発した実績を持つ㈱SBS 情報システム常勤顧問の久保田徹氏は地域の医療介護の事業者と住民とを結ぶIT支援システムについて岡先生や静岡県医師会と開発を続けてこられ、現在は医療・介護のITネットワーク型連携情報システム『シズケア*かけはし』へと発展させておられますことから、その現況について岡、久保田両氏からご報告をいただきました。ちなみに両氏は地域包括ケアシステム構築の目安とする学校区を同じにして育てられた同窓であることから、同システムの設計についても課題に気づく経験が豊富でした。

両氏の講演の後、さっそく山口先生のご感想をお述べ下さり、コンピュータ支援システムの運営のために住民のシステム利用者を増やす努力は難しいながらもこれを欠かすことはできず、その努力と平行して医療・介護関係者のシステム加入を呼びかけるのが適切とのご意見がありました。またご自身のご経験に照らしても、それらの努力がどれほど大変なことかはよくわかると述べられ、お二人の静岡での奮闘にエールを送られました。

最後に、ご来賓の浅原先生、板谷先生、土肥先生の御三人のご来賓の方々から静岡での取り組みを聞いての学びについてご感想を頂戴したところで時間一杯となり、岡野 MBA 業務推進担当室長から閉会の案内となりました。



研究センター開設記念HbpMSセミナー ④

地域包括ケアシステムと情報技術支援

日程 **12月16日** 13:00~16:00 場所 **TKPガーデンシティ PREMIUM 広島駅前** 参加費 **100名** 参加無料

県立広島大学の専門職大学院経営管理研究科(HBMS, Hiroshima Business and Management School)は、2016年1月に開設した中国地域で初めてのビジネススクールです。そして設立時よりヘルスケアマネジメント人材育成を推進する機関としてHBMS地域医療経営プロジェクト研究センター(HBMS Commons for Health Policy and Management Studies)を本年4月に開設いたしました。これを記念して医療政策研究セミナーを企画・開催いたしました。第1弾として5月12日に開設記念HbpMSセミナー「医療介護連携推進の中核―地域包括ケアシステムのマネジメントを考える」をご来賓に広島県知事ほかをお招きして広島県庁議室にて開催しました。そして第2弾は8月28日に広島県医師会ほかをご来賓にお招きして「医療介護の理解増進と医療経営の動向」を本学講堂にて開催し、第3弾は9月28日に広島県薬剤師会会長ほかをご来賓にお招きして「薬局の存在意義から考える薬局経営の原則」を広島県薬剤師会館にて開催し、いずれのセミナーも満席に当該分野の第一人者の方々をお招きしてご講演いただきました。

スケジュール

13:00 開演	主催センター運営相談役 ご来賓挨拶
13:05 ~ 13:10	ご挨拶
13:10 ~ 13:25	「地域包括ケアシステムの経営人材育成の必要性」 西田在實センター長 (HBMS代表、ヘルスケアマネジメント分野担当)
13:25 ~ 14:10	基調講演 「地域包括ケアシステムにおける原点と評価システムの探問」 山口 眞 センター顧問 (広島県立総合病院総合病院長・総合顧問、 広島県県政情報センター常務センター長)
14:10 ~ 14:20	休憩
14:20 ~ 15:20	特別講演 「医療・介護のITネットワーク型連携推進システム 「システム・かけはし」の取り組み」 岡 保一郎 (静岡労働会理事、丹波市市野野田医療会会 久保田 徹 (株式会社SBS情報システム常務取締役)
15:20 ~ 15:55	討論 「わが国の地域包括ケアシステムの進展に向けて」(質疑応答含む)
16:00 閉会	岡野MBA業務推進担当挨拶



HbpMSとは

HBMS(HBMS: Hiroshima Business and Management School+ Health Policy and Management Studies)
経営管理研究科(Health Policy and Management)の開設から、国による社会保障の重要施策、医療介護連携推進政策に関する研究を行い、その成果をもとに広島県社会の発展に貢献する企業・団体・個人との連携・協力を推進する研究センターとして活動中です。

お申し込み方法 申込締切平成30年12月14日(金) 但し、定員になり次第締め切ります。HBMSのウェブサイトにてお申し込みください。



研究センター開設記念HbpMSセミナー ④

地域包括ケアシステムと情報技術支援

地域包括ケアシステムは、1967年に広島県制府前に置かれた国保病院に院長として赴任された山口昇医師が当院に高年齢化が進んでいた同地域の医療整備に際し取り組む中で迎えた「高齢社会のまちづくり」の意識であり、半世紀後に国で高齢化が進む日本社会の地域づくりを先取りするものでした。そして、山口先生の取り組みは連鎖とつながり、地域包括ケアシステムの模範となつたマニエメント単位は学校区で模範することが望ましいことや同システム運営の評価方法についても研究を続けておられます。

さて私は2013年春、前任校の静岡国立大学の医療経営研究センター長時代に、その前任に厚生労働省常務局長として地域包括ケアシステムの法令を出された高橋俊彦氏をお招きして地元の地域包括ケアシステム構築について研究する会を興しました。そしてこのとき、集まった関係者各々が地域包括ケアシステムに寄せる研究関心事について発表しました。この中で岡野一郎医師(静岡県医師会理事・医療介護連携推進、元静岡市野野田医師会)は当時取り組んでいた静岡市内における高齢者の医療・介護を守る市民活動について報告され、また全国に普及する電子カルテの基盤ソフトを開発した実績を持つSBS情報システム幹部の久保田徹氏は地域の医療介護の事業者と住民とを結ぶIT支援システムの構築について報告されました。その後、同研究センターでは厚生労働省を招いた高橋氏に講演をお願いして地域包括ケアシステム構築のための研究を続け、2015年暮には公開セミナー「地域の医療介護連携推進のマネジメントを考える」を企画開催して、岡野氏や久保田氏とともに「安心して暮らせるための医療介護連携マニエメント支援のITシステム」の試案を発表し、これが地域包括ケアシステム構築に役立つことを説明しました。

あれから3年経った今、このITシステムはかねてより手掛けられていた静岡県内在宅医療のITネットワーク型情報共有システムと組み合わさって医療・介護のITネットワーク型連携推進システム「システム・かけはし」へと発展しています。

じつは前院長と久保田氏は同じ学校区で生まれ育った同世代で、静岡市内の地域包括ケアシステムの構築そして静岡県内全域における同システム普及にかける熱意は、他所のITシステム開発の試みにも負けないものだと思います。このたびは岡野氏から静岡で構築される「システム・かけはし」の開発・普及の取り組みについてご報告いただきます。

そしてセミナー開催では、当プロジェクト研究センターの顧問で、わが国の地域包括ケアシステムの創出者であり山口昇先生に基調講演をいただきます。そして岡野先生、久保田氏から「システム・かけはし」の取り組みについてお話しを伺った後に、山口先生のご意見やフロアからの質疑を受けてのディスカッションをいたします。

医療介護に従事される関係者や関連のサービス事業者の方のみならず、地域包括ケアシステム構築推進の任にあられる県内自治体の皆様にも本特別企画へのご参加をご案内申し上げます。ご来賓です。

2018(平成30)年11月6日

HBMS地域医療経営プロジェクト研究センター長 西田 在實